

中学校第2学年学級活動指導案

日時 平成25年7月16日(火)

指導者 教諭 瀧川 尚樹

1 題材名 無料通話メールアプリの利便性と危険性

2 題材について

(1) ねらいについて

携帯電話の普及に伴い、これまでのメールのやりとりだけでなく、スマートフォン等で無料通話メールアプリを使つてのメッセージのやりとりが最近急増してきている。

無料通話メールアプリは、無料で通話やメールのやりとりができるなど便利な一方で、SNS(ソーシャルネットワークシステム)の1つとして、知らない人と繋がることにもなり、そのことから多くのトラブルが起きている。

また、無料通話メールアプリ上での他人に対する誹謗・中傷も問題となっている。

そこで、本学習においては、無料通話メールアプリに関する基本的な知識をおさえるとともに、便利さの裏に隠された危険性や、その使用によって引き起こされている事件やトラブルなどを知らせることで、携帯電話(特にソーシャルネットワークシステム)を使用する際のルールやマナーを身につけさせたい。

(2) 生徒の実態について

※ 省略

(3) 資料について

県の生徒指導協議会から出された「ラインなど携帯端末における生徒指導」のスライド(プレゼンテーションソフトウェア)を生徒の実態に応じて一部改変したものである。SNSの種類、無料通話メールアプリの会員数の変化、無料通話メールアプリのシステム、利便性や危険性などについて分かりやすくまとめている。

(4) 指導にあたって

- 生徒の携帯電話の保持率・使用状況、無料通話メールアプリの認知度などを確認し、実態の把握を行う。
- 無料通話メールアプリに対してマイナスイメージを持たせるのではなく、ルールやマナーを守って安全に使うことの大切さに気付かせる。
- ネット上に個人情報や載せることの危険性や、他人への誹謗中傷が犯罪になることについても触れる。

(5) 人権教育の視点

一人一人の意見や考えを大切にしたい授業展開を心がける。また自分の意見や考えを出しやすいような支持的風土づくりに努める。

3 本時の展開

- (1) 目標 無料通話メールアプリについての正しい知識、マナーやルールを守って安全に使おうとする態度を身につける。

(2) 展開

| 課程 | 時間 | 学習活動 | 主な発問と生徒の反応 | 教師の指導と評価 | 備考 ICT活用 |
|----|----|--|--|---|-------------|
| 導入 | 5 | ①無料通話メールアプリについて知っていることを出し合う。 | T：無料通話メールアプリというのを知っていますか。 C：知っている。 よく使っている。 知らない。 言葉は聞いたことがある。 | ○無料通話メールアプリをどれだけ生徒が認知しているか確認する。知らない生徒にはどんなイメージを持っているかをたずねる。 | |
| 展開 | 10 | ②無料通話メールアプリとは何かを知る。 ・SNSについて ・会員数 ・機能 ・使い方 | C：まだ新しいんだ。 最近の利用者が増え方がすごい。 無料通話メールアプリは便利で、なんだか楽しそう。 | ○無料通話メールアプリの利便性をおさえる。 | スライド |
| | 10 | ③無料通話メールアプリの問題点について考える。 | T：無料通話メールアプリの機能によってどのようなトラブルが起きると思いますか。 C：個人情報が出流する。 (写真とかも) 詐欺にあう。 いじめやケンカが起こる。 | ○知らない人と繋がる可能性があることの危険性を確認する。 | ワークシート |
| | 10 | ④無料通話メールアプリの使用による実際に起きた犯罪やトラブルを知る。 | C：便利だけではないんだな。一歩間違えると恐ろしいものになるな。 | ○大きな犯罪だけでなく、身近に起こりうるトラブルや「SNS依存症」についてもふれる。 | 新聞記事のコピー |

| | | | | | |
|----|---|---------------------------------|---|------------------------|--------|
| | | ⑤携帯電話(無料を含めて)を安全に使用する方法について考える。 | <p>T: どうすればトラブルや犯罪に巻き込まれないだろうか。</p> <p>C: 初めから使わない。マナーを守って使う。個人情報を出さない。</p> | ○今後具体的にどう行動していくかにつなげる。 | ワークシート |
| 終末 | 5 | ⑥授業の感想を書く。 | T: 今日の授業の感想を書きましょう。 | ○時間があれば感想の発表・共有まで行う。 | ワークシート |